

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公開番号】特開2007-277561(P2007-277561A)

【公開日】平成19年10月25日(2007.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-041

【出願番号】特願2007-103454(P2007-103454)

【国際特許分類】

C 08 G 18/65 (2006.01)

C 09 D 175/04 (2006.01)

C 09 D 175/06 (2006.01)

C 09 D 5/02 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/65 Z N M A

C 09 D 175/04

C 09 D 175/06

C 09 D 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月7日(2010.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) 1種またはそれ以上のポリイソシアネート、

b) 500~6000g/molの平均分子量M_nを有する1種またはそれ以上のポリオール、

c) 62~500g/molの平均分子量M_nを有する1種またはそれ以上のポリオール、

d) イオン基またはイオン基を形成することができる基を含む1種またはそれ以上の化合物、

e) 500g/mol未満の平均分子量M_nを有する1種またはそれ以上のポリアミン、

f) 必要に応じて、32~145g/molの平均分子量M_nを有する1種またはそれ以上のモノアルコールおよび

g) 必要に応じて147g/mol未満の平均分子量M_nを有する1種またはそれ以上のモノアミン

を含み、f) およびg) の少なくとも1つが使用され、ポリウレタン分散体(I)の樹脂に基づいて測定した場合、f) および/またはg) の割合が少なくとも0.4質量%~1.26質量%であり、成分c) の割合が5.5質量%超~22質量%であり、かつポリウレタン分散体のハードセグメント割合が55質量%~85質量%である、ヒドラジン非含有水性ポリウレタン分散体(I)。

【請求項2】

請求項1に記載のヒドラジン非含有水性ポリウレタン分散体の製造方法であって、

I.1) 成分a)、b)、c) およびd) を反応させることにより、大気圧下で100未満の沸点を有する溶媒中に66%~98%の濃度でNCOプレポリマー溶液を調製する工程、

I.2) 分散の前、間または後に生じるイオン基の少なくとも部分的な中和によって、水中に該NCOプレポリマーI.1) を分散させる工程、

I.3) 成分e) を用いて該NCOプレポリマーを鎖延長する工程および

I.4) 該溶媒を除去するために生じた分散体を蒸留する工程
を含み、成分f)は、工程I.1)において使用されるか、または成分g)は、工程I.3)において使用される方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

有機溶媒の放出を減少させる目的で、水性被覆組成物が溶剤型被覆組成物の代わりに使用されることが増えている。水性被膜形成結合剤の重要な種類は、ポリウレタン分散体である。無溶媒ポリウレタン分散体（以下、PUDと称する）は、アセトン法およびプレポリマー混合法の両方によって入手できる。